

令和7年6月24日  
鉄 道 部

## のと鉄道七尾線の鉄道事業再構築実施計画の認定について

北陸信越運輸局長は、のと鉄道の鉄道事業再構築実施計画について、令和7年6月24日付けで認定を行いました。

北陸信越運輸局長は、令和7年3月31日付けで石川県、七尾市、輪島市、珠洲市、穴水町、能登町、のと鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社から申請があった鉄道事業再構築実施計画について、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第24条第2項に基づき、6月24日付けで認定を行いました。

実施計画では、のと鉄道を第二種鉄道事業者、西日本旅客鉄道を第三種鉄道事業者とする現状の形態を維持したまま、のと鉄道が実施する鉄道施設等の整備に要する費用の全額について、協定書に基づき石川県、七尾市、穴水町が負担することで、のと鉄道の安定的な運行を図るとともに、のと鉄道並びに沿線自治体が協力して利便性向上と利用促進を行うことで、のと鉄道七尾線の持続可能性を高めることとしております。

【概要】（詳細は添付資料をご覧ください。）

○申請者

石川県、七尾市、輪島市、珠洲市、穴水町、能登町、  
のと鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社

○計画期間

10年間：令和7年7月1日～令和17年3月31日

【問い合わせ先】

北陸信越運輸局鉄道部 渡邊、鴻島  
電話：025-285-9153

## のと鉄道七尾線の鉄道事業再構築実施計画の概要

### 1. 対象路線

のと鉄道 七尾線（七尾～穴水間 33.1km） 令和4年度輸送密度 606人

※令和5年度の輸送密度は、能登半島地震による運休期間の影響があるため、前年の令和4年度の数字とした。

### 2. 事業構造

これまでどおり西日本旅客鉄道が第三種鉄道事業者として鉄道用地及び鉄道施設を保有し、のと鉄道が当該用地及び鉄道施設を有償で借り受けて、第二種鉄道事業者として運行を担う。西日本旅客鉄道とのと鉄道との契約等に基づき、のと鉄道が負担している鉄道施設等の整備に要する費用及び鉄道施設の維持管理費用について、石川県と沿線市町（「七尾市及び穴水町」をいう。以下同じ。）が全額負担する事業構造とする。

### 3. 計画期間

令和7年7月1日から令和17年3月31日まで（10年間）

### 4. 地方公共団体による支援

○県、沿線市町による支援

- （1）鉄道施設及び車両の整備費への支援
- （2）鉄道施設の修繕費への支援
- （3）鉄道施設及び車両の維持管理費への支援

○のと鉄道利用促進協議会※による支援

- （1）地元住民利用促進及びマイレール意識の高揚
- （2）観光利用の促進

※のと鉄道利用促進協議会・・・七尾市、輪島市、珠洲市、穴水町、能登町で構成する、のと鉄道の利用促進を図るための協議会

### 5. 利用者利便の確保に関する主な事項 【 】内は事業費

- （1）鉄道施設及び車両の更新等による利便性向上 【6,552 百万円】

普通列車の電気式気動車への更新や、レール及びまくら木の更新を行うことで、振動の抑制による乗り心地の改善や、加速性能の向上による速達性の確保を図る。新型車両については、ラッピングの工夫により旅客需要の創出を図る。

- （2）駅施設等における利用者の利便性向上 【360 百万円】

デジタル乗車券の導入、各駅への運行情報提供装置の設置、各駅や車両案内表示の多言語化、他の交通手段との接続強化、駅のホームの嵩上げによる段差解消などにより、利用者の利便性向上を図る。

- （3）能登半島地震からの創造的復興に向けた利用促進 【41 百万円】

「語り部列車」のPR強化、「ポケモン列車」を活用したイベント実施、観光列車「のと里山里海号」の本格運行再開・魅力向上、サイクルトレインの導入検討などによる県内外からの更なる誘客と利用促進を図る。

- （4）沿線企業や住民等と連携した利用促進 【386 百万円】

沿線施設等と連携した企画列車や企画乗車券の充実、通勤・通学定期利用者及び高齢利用者に対する運賃割引への助成、能登地域への旅行商品の造成などにより、住民利用や観光利用の促進を図る。

事業費合計 7,339 百万円 ※（1）、（2）の一部について社会資本整備総合交付金等を活用予定

## 6. 鉄道事業再構築事業の効果

○ のと鉄道が負担することとされている鉄道施設の整備及び維持修繕に係る費用を、石川県及び沿線市町で負担することで、のと鉄道が安全で持続性が高い運行サービスを提供できる環境が整うとともに、駅施設の改良等による利便性向上や利用促進の取組みを推進することで、人口減少と能登半島地震の影響による利用者の減少を可能な限り食い止め、のと鉄道の経営健全化を図る。

○ 計画最終年度における利用者数

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 再構築事業を実施しなかった場合 | 424 千人 |
| 再構築事業を実施した場合    | 465 千人 |

○ 計画最終年度におけるのと鉄道の当期純利益

|                 |            |
|-----------------|------------|
| 再構築事業を実施しなかった場合 | △15,067 千円 |
| 再構築事業を実施した場合    | △ 759 千円   |

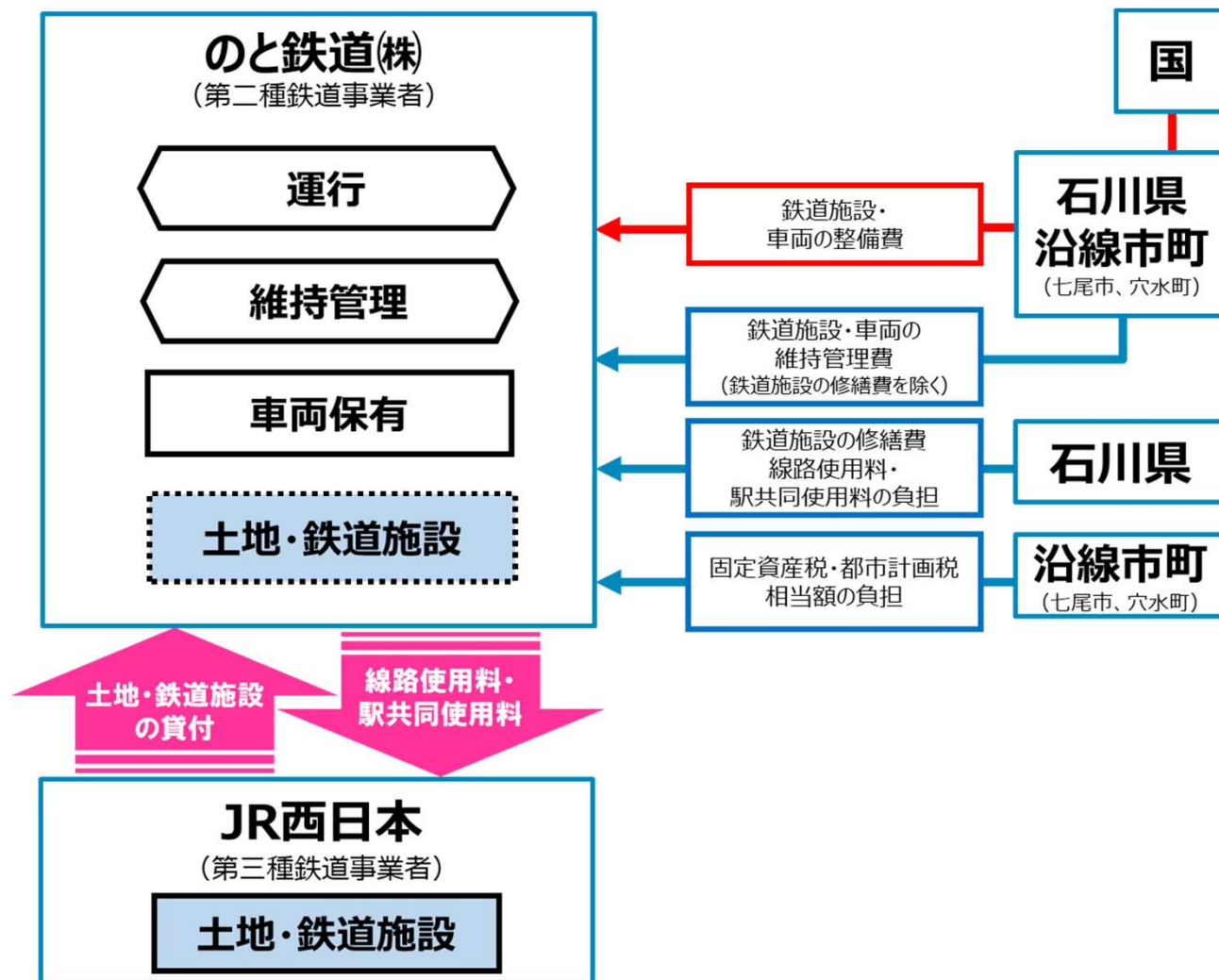
# のと鉄道の鉄道事業再構築事業の概要



北陸信越運輸局  
Hokuriku-Shin'etsu District Transport Bureau

## 再構築事業実施スキーム

(計画期間: 令和7年7月～令和17年3月)



## 具体的施策と効果

### 効果

- 鉄道利用者数(R16年度見込): 465千人／年  
(計画未実施の場合: 424千人／年)
- 当期純利益(R16年度見込み): △759千円  
(計画未実施の場合: △15,067千円)

### 具体的な施策

◇は社総交活用予定事業

- 鉄道施設等の更新による利便性向上
  - ◇新型車両(電気式気動車)の導入
  - ◇軌道の改良
- 駅施設の改良等による利用者の利便性向上
  - ◇駐車場の改良(ホーム嵩上)による段差解消
  - ◇デジタル乗車券の導入
  - ◇運行情報提供装置の導入
  - ◇他の交通手段との接続強化
  - ◇パーク・アンド・ライドの推進
  - ◇多言語対応等の外国人旅行客の受入
- 能登半島地震からの創造的復興に向けた利用促進
  - ◇語り部列車のPR強化
  - ◇ポケモン列車を活用したイベント実施
  - ◇観光列車「のと里山里海号」の本格再開・魅力向上
- 沿線企業や住民等と連携した利用促進
  - ◇企画列車や企画乗車券の充実、旅行商品の造成
  - ◇地元利用者への運賃割引

 **北陸信越運輸局**  
Hokuriku-Shin'etsu District Transport Bureau

- | 区間  | 令和元年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|-----|-------|-------|-------|
| 七尾線 | 735   | 539   | 606   |

|        |                                                                              |
|--------|------------------------------------------------------------------------------|
| 令和6年1月 | 能登半島地震による被災・運休                                                               |
| 令和6年4月 | 全線運行再開（6日）                                                                   |
| 令和6年7月 | 能登地域の持続可能な地域公共交通の確保のため、石川県が能登地域4市5町や交通事業者等と「石川県能登地域公共交通協議会」を設置。8月に第1回協議会を開催。 |
| 令和7年3月 | 第3回協議会を開催。能登地域公共交通計画及びのと鉄道再構築実施計画を策定。                                        |
| 令和7年6月 | 鉄道事業再構築実施計画の認定。                                                              |